

平成30年度（29年度決算）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	人権啓発活動事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	幼児・児童生徒及びその保護者をはじめ、広く市民の人権意識の高揚を図るため、児童生徒・保護者等による作文朗読、合唱、人権劇などを内容とする「みんなで人権を考える会」を開催する。				
	30年度概要 幼児・児童生徒及びその保護者をはじめ、広く市民の人権意識の高揚を図るため、児童生徒・保護者等による作文朗読、合唱、人権劇などを内容とする「みんなで人権を考える会」を開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	幼児・児童生徒及びその保護者をはじめ、広く市民の人権意識の高揚を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
プログラム配布数	枚		19,865	19,925	20,000	20,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		「みんなで人権を考える会」参加者数	人	目標値		600	600	600
			実績値		500	588		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	目標より下回ったものの、事業として認知度は定着しており、内容も充実したものとなっている。今後、開催時期や開催場所等について検討していく必要がある。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,495	4,662	4,254	4,340
(事業費)	[円]	656	736	460	546
(職員人件費)	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
今年度は、私鉄の主要な駅にポスター及びチラシの設置、また車内での開催案内アナウンスを流してもらうなどの取組を行ってきた。ある一定の効果は出ていると思われるが、更なる周知方法等模索する必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
ある一定の水準を保ちつつ現在に至っているが、更なる人権意識の高揚を図る必要があり、今後、開催時期や開催場所等について検討していく必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	文化交流推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域住民を対象に文化センター等主催で各種講座（社会教育学級）やボランティア活動、三世代交流、地域交流（行事）を主に様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上させ、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚及び社会的自覚の促進を図る。		
30年度概要	地域住民を対象に文化センター等主催で教養を高める各種講座（社会教育学級）や、ボランティア活動、三世代交流、地域交流行事など様々な体験・交流の機会を提供する教室（ふれあい教室）を開催することにより、地域住民の教育水準を向上し、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図るとともに自立意識の高揚及び社会的自覚の促進を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民が、教養を高め、技能取得等一定の成果が認められるように各種講座に積極的に参加する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
社会教育学級実施回数	回		571	584	800	800
ふれあい教室実施回数	回		67	51	56	56

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
社会教育学級受講者数	人	目標値		5,277	5,277	5,277	5,277
		実績値		3,680	3,727		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値には届いていないが、一定の継続性のある講座に加え、新たな取組が必要であると思われる。 （目標達成度）						(達成度) 70.6% 24点	
ふれあい教室受講者数	人	目標値		590	590	590	590
		実績値		995	436		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値には対して、実績値は大きく下回っている。原因は、もっとも受講者数の多い文化センターの改築による仮設の建物となっていたため、十分な活動が行えなかったことによる。来年度は、改築も完了し通常通りの活動を行うこととしている。 （目標達成度）						(達成度) 73.9% 25点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,856	7,484	7,750	7,891
（事業費）	[円]	4,017	3,558	3,956	4,097
（職員人件費）	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
目標値には届いていないが、一定の継続性のある講座継続しつつ、新たな取組が必要であると思われる。また、地域交流等の場として更なる情報発信が必要であると思われる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
文化センターを中心とした、各種講座、ボランティア活動、三世代交流、地域交流は、人権意識の普及・高揚には欠かせない場となっているため、事業は継続しつつ、新たな講座の模索や地域を超えての連携など、交流の輪を広げて行くことを検討する。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	子ども教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象の進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行うことにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。		
30年度概要	地区小・中学生を対象とした補充学習等の実施、地区小・中学生及びその保護者を対象に進路・進学等相談、大学生のボランティアによる学習支援の実施を行い、その経費を支出し、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	地区小・中学生
意図(どのような状態にしたいか)	地区小・中学生及び保護者が、子ども学級・教育相談・学習支援ボランティアに出席する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
子ども学級実施回数	回		578	593	622	622
教育相談実施回数	回		23	50	37	37

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	子ども学級出席者数	人	目標値		4,987	4,987	4,987	4,987
			実績値		3,271	3,258		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値には、届いていないが、成果として決して数値が高いことが、良いこととは言えないものである。 (目標達成度)							(達成度) 65.3%
								22点
成果指標	教育相談出席者数	人	目標値		343	343	343	343
			実績値		195	353		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値には、届いているが、成果として決して数値が高いことが、良いこととは言えないものである。 (目標達成度)							(達成度) 102.9%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	9,996	10,631	10,316	10,445
(事業費)	[円]	6,157	6,705	6,522	6,651
(職員人件費)	[円]	3,839	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

目標値には、届いていないが、成果として決して数値が高いことが、良いこととは言えないものである。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地区の小・中学生の補充学習の場として、一定の成果が上がってはいるが、小・中学生の減少等に伴い、目標値としては、下回っている。また保護者を対象とした進路・進学相談についても目標値としては下回っているのが現状である。今後は、子ども達やその保護者のニーズを知る必要がある。そして一人一人を大切に対応する事業としていきたい。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校人権教育推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。		
	30年度概要 高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に対し、人権教育指導資料の作成・発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研修会への参加費補助、人権教育資料の購入等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校
意図(どのような状態にしたいか)	高松市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の人権教育・啓発の推進

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
研修会実施回数	回		6	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	研修会等参加者人数	人	目標値		459	459	459	459
			実績値		538	569		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値を達成している。今後も同程度の研修会を開催し、人権教育を行っていく。 (目標達成度)							(達成度) 124.0%
								35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	19,413	20,244	18,744	18,653
(事業費)	[円]	5,978	6,505	5,467	5,376
(職員人件費)	[円]	13,435	13,739	13,277	13,277

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 毎年度、教職員に対する研修会の開催や指導資料の作成であり、一定の継続が必要である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 人権教育・啓発の学びの場として、研修会等への参加者数は十分にあり、人権意識の高揚が図られている。今後は新たな差別(LGBT・SNS上での差別発言等)についての研修会等を行っていく必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会教育指導員設置事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域における子どもの学習指導・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。		
30年度概要	地域における子どもの学習指導・生活指導の充実を図り、進路保障を実現するため、社会教育指導員を配置する。また、社会教育指導員の派遣により人権教育市民講座等、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	地区小・中学生及び市民
意図(どのような状態にしたいか)	社会教育指導員による指導を受けることにより、地区小・中学生の基礎学力の定着・進学意欲の向上を図る。また、人権課題解決のための各種研修の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
学習指導等実施時間	時間		2,717	2,624	1,500	1,500

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	学習指導等出席者数	人	目標値		26,000	26,000	26,000	26,000
			実績値		8,924	8,225		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
								31.6%
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,805	20,734	20,622	21,353
(事業費)	[円]	17,734	17,594	17,587	18,318
(職員人件費)	[円]	3,071	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

学習指導等の実施時間は、活動指標を上回っているが、子どもたちの参加数は目標値をかなり下回っている現状である。参加数が多いことが必ずしも良い結果ということではないため、実情を把握しつつ現実的な対応を行う必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

学習指導等の実施時間としては、活動指標以上の時間をこなしているが、参加者数としては、目標をかなり下回っているのが現状である。今後については、学習指導等は現状を維持しつつ、子どもたちの実情に応じた指導等を行っていく。市民講座開催については、周知方法を検討する必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会人権教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民に対し、人権教育市民講座の開催、人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行うことにより、人権教育・啓発の推進を図る。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------

30年度概要	市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導資料の作成と視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行い、人権教育・啓発の推進を図る。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------


【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	市民の人権教育・啓発の推進

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
人権教育市民講座実施回数	回		35	37	52	52

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	人権教育市民講座受講者数	人	目標値		3,140	3,140	3,140	3,140
			実績値		1,616	1,785		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値に対して、下回っている。 人権教育市民講座について、本課の社会教育指導員を派遣する事業に変更し実施している。昨年度よりは回数・受講者数が若干の増となっているが、更なる周知が必要である。 							(達成度) 56.8% 19点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	20,075	19,695	19,313	20,253
(事業費)	[円]	10,479	9,881	9,829	10,769
(職員人件費)	[円]	9,596	9,814	9,484	9,484

【評価】

評価ランク(A~D)	C	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

数値は下回っている。人権教育市民講座について、3年前から本課社会教育指導員を派遣する事業に変更し実施しているが、更なる、周知が必要であると思う。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

人権教育市民講座について、目標値を下回っているのが現状である。今後はホームページや他の情報媒体等を利用して、市民講座希望や開催の情報提供を行っていくこととする。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権教育課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2640
	基本事業	人権教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	人権教育事務		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	人権教育課職員が四国地区人権教育研究大会、全国人権・同和教育研究大会等に参加することにより、人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行い、市民に対しての、人権教育・啓発を推進する。		
30年度概要	人権教育課職員が四国地区人権教育研究大会、全国人権・同和教育研究大会等に参加するための旅費、参加費等を支出し、人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行い、市民に対し、人権教育・啓発を推進する。 また、香川県高等学校等奨学資金返還事務を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	人権教育課職員
意図（どのような状態にしたいか）	人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行い、人権・同和教育問題に対する認識をより深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
参加大会数	数		9	7	10	10

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
人権教育課職員による研修講師回数	回	目標値		80	80	80	80
		実績値		71	77		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値には達していないものの、概ね回数をこなせている。 (目標達成度)							(達成度) 96.3% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,961	9,135	8,911	8,738
（事業費）	[円]	516	499	565	392
（職員人件費）	[円]	8,445	8,636	8,346	8,346

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 概ね回数をこなせている。継続して行っていくことが重要であると思う。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 研修会等において、同和教育の正しい理解と実践について、大会等への積極的な参加も行え、講師回数も概ねこなせている。今後は、新たな人権課題も表出しており、人権教育課職員として研究大会等で研修し、研修成果を市民に還元していくことが必要である。			